

2022年度の決算状況をお知らせします

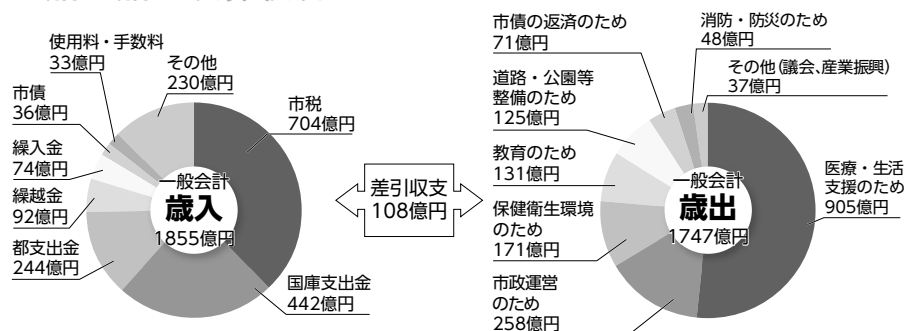
※金額等は、表示単位未満を四捨五入及び端数調整を行っているため、合計値と合致しない場合があります。

問財政課 ☎724・2149

2022年度決算状況

市民の皆さんに納めていただいた市税がどのように使われ、市の決算がどのようになったかをお知らせします。

■歳入歳出決算状況



■主要な事業と決算額

2022年度は新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種事業(40億760万円)やプレミアムポイント付与事業(12億8074万円)、原油価格高騰等に対する事業(22億2759万円)を実施しました。この他、重点的に取り組んだ主な事業の決算額は以下のとおりです。

赤ちゃんに選ばれるまちになる

待機児童解消対策事業(3億739万円)

未来を生きる力を育み合うまちになる

教育情報化推進事業(4億5015万円)、中学校給食センター整備事業(1億8307万円)

いくつになっても自分の楽しみが見つかるまちになる

野津田公園スポーツの森整備事業(3億3590万円)

つながりを力にするまちになる

循環型施設整備事業(4億3789万円)

思わず出歩きたくなるまちになる

鶴川駅周辺街づくり事業(2億7360万円)、多摩都市モノレール延伸事業(2億6034万円)、芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアム推進事業(1億3081万円)

まちづくりを支える行政経営

デジタル化推進事業(6億2024万円)

〈2021年度決算との比較〉

歳入総額は、前年度より196億円減少しました。これは、市債が130億円、国庫支出金が128億円減少したことなどによりです。

歳出総額は、前年度より212億円減少しました。これは、保健衛生環境のための支出が143億円、教育のための支出が63億円減少したことなどによりです。

■多摩26市の中の町田市 多摩26市における、町田市の財政指標等の順位は以下のとおりになりました。

- **基金積立金現在高(多い順)** ※市民1人当たり
6万2046円(24位) 多摩26市平均=11万1346円
基金積立金現在高とは、家計における預貯金残高に当たります。
- **市債元金現在高(少ない順)** ※市民1人当たり
21万377円(17位) 多摩26市平均=18万6772円
市債元金現在高とは、家計におけるローンに当たります。

■単位当たりコスト 市民の皆さんが身近に感じられる行政サービスの単位当たりコストをご紹介します。※カッコ内は2021年度決算の数値。

- **学童保育**
入会児童1人当たりコスト=年間38万4618円(39万2841円)
学童保育クラブ入会児童数=4513人(4124人)
施設の利用者負担の割合=20.6%(19.8%)
- **小学校給食**
給食1食当たりコスト=629円(597円)
年間延べ給食提供食数=415万2784食(432万134食)